平成30年（2018年）3月1日 第398号

とよのかんぽー

発行所
長野市立豊野公民館
長野市豊野町豊野612-8
電話 257-5875
発行人 柳原政利
印刷所 ㈱信光社

豊野町の世帯と人口（平成30年2月1日現在） 3,697世帯 人口9,776人（男4,763人 女5,013人）

軽スポーツを楽しむ
第11回新春スポーツ大会

ペタンクの判定を見守るキャプテン

新年早々の1月14日、地域公民館対抗の新春スポーツ大会が豊野体育館と豊野公民館で行われました。

競技種目はスマイルボウリング、ペタンク、そして今年から正式種目になったスポーツ吹き矢の3つ。いずれも、体力よりは各自の集中力、作戦、運不運が結果に繋がる軽スポーツで総合点を競いました。

スマイルボウリング

スポーツ吹き矢が今年から正式種目に

子供の参加もあって、歓声あり笑いありの好プレー珍プレーが続出し、会場は終始にぎやかで、また和やかな雰囲気に包まれました。初体験の参加者も多く、町内とはいえ久しぶりに対面する友人知人もいたりして、出会いと交流の場にもなりました。

結果は、豊野南公民館が優勝、2位が豊野西公民館、3位が豊野東公民館と、今回は豊野地区の活躍が目立ちました。

例年どおり「ゆたかのスポーツクラブ」が運営に当たりましたが、初めてスポーツ吹き矢を正式種目にしたことで時間調整に少し問題が出た以外はスムースに進行できました。数少ない全町民対象のイベントとして、今後に期待する声が聞かれました。

豊野の風

先日、新聞を読んでいたら、ある本の広告の見出しが、ふと目に止まった。

「誰かに投げかけたものは、同じ顔をして返ってくる」

「あーッ！」と、その言葉がジワジワと胸に染み込んできた。

最近、職場での人間関係にストレスを感じてしまい、年度切り替えの異動で環境が変わってくれないかなあ…などと、身勝手な想いが頭をよぎったりする自分に自己嫌悪を感じたりしていた。そんな私の心に、この言葉が飛び込んできた。

「誰か」は、私にとっていつも自分のすぐそばにいる子どもでもあり、配偶者であり、父母であり、そして職場の仲間である。（さらには、いつも買い物をする店の店員さんだったり、狭い道ですれ違う対向車のドライバーだったりするかもしれない）

苦手な相手から逃げることばかり考えていたが、自分の「投げかけ方」ひとつで、もしかしたらうまくいくかもしれない。別れと出会いの季節ですが、新しい出会いへの期待とともに、今ある出会いにも、もう少し大切にしてみようかなと思う3月である。

（N）

報告　秋から冬の公民館講座

大人の社会見学②－資源

11月7日(火)

長野市清掃センターと㈱直富商事のごみ処理施設や資源の再利用について見学。

里の秋 ゆたかの音楽会

11月16日(木)

講　師　島津和平さん

テノール独唱にうっとり。そして、合唱指導を受け皆さん大満足。

みんなで楽しく合唱

平和って

11月22日(水)

松代の象山地下壕、皆神神社や戦争のつめ跡が残る川田駅を、地元の松代文化財ボランティアの会や川田宿ガイドの会に案内してもらいました。

川田宿で説明を聞く

とよのむかしばなしでぶらマップ

11月24日(金)

「とよのいいとこマップ」を活用した街歩き講座第一弾。「(あい)^2 倶等部」や「マップづくりの会」のみなさんの協力で浅野地区を散策。

「(あい)^2 倶等部」会員の
むかしばなしに耳を傾ける

浅野方面を歩く

寒さと途中雨の悪天候でしたが、初めて通る道や説明してもらう場所など、何もわかっていないことに驚きでした。

「とよのいいとこマップ」と「とよのむかしばなし」を組み合わせ、宝蔵院、境の湯、赤地蔵と浅野方面の様子がよくわかったように思います。自分の住むところは、何かとわかるのですが、少し離れると、全く知らないか、わからないことばかりです。

「とよのいいとこマップ」、「豊野百景」、「とよのむかしばなし」等多くの参考資料があるのに、ほんのわずかしか知らないことに驚かされます。

気候の良い時に、少しずつ歩いて、新しい発見ができたら楽しいかなと思わされた半日でした。

（宮崎淑子）

旬を味わうワンプレート

12月11日(月)

講　師　増田朱美さん

住民自治協議会女性部会と共催

彩り豊かな料理を
プレートに盛り付け

「夕飯、何にしようかな」夕方になるとお母さんはそう思う。冷蔵庫を覗くと白菜、レンコン、さつま芋、牛蒡などがある。白菜は味噌汁に、レンコンとさつま芋は天ぷらに、牛蒡はきんぴらに…が今までの定番。それが、白菜はサラダに、レンコンはレンコン餅に、さつま芋はきんとんに、牛蒡は素揚げにと変身した。

これは、料理教室「旬を味わうワンプレート」で、野菜ソムリエプロの増田朱美さんから教えていただいたメニュー。他にも蕎麦ガレット、甘酒ゼリー、サーモンとアボカドの手まり寿司などが加わり、野菜主体で彩り豊か、カロリー控えめのおしゃれプレートが完成した。

さて、今年の年末年始は「お節も良いけどワンプレートの健康料理」で、肥満防止と片付け時短といきましょうか。

（清水厚子）

ジャズコンサート

12月9日(土)

演　奏　モダン・デュークス

サンタをバックに軽快な演奏

どこかで聞いたことのある名曲の数々を堪能しました。

花の春

12月27日(水)

講　師　橋本博重さん

橋本さんの素晴らしい作品

信州の名工、橋本さんの指導で、正月を迎える豪華なフラワーアレンジメントができました。

貴(あて)やかに正調豊野音頭とゆたかのまち

1月10日～2月28日　全8回

講　師　正調豊野音頭保存会

講座の様子を取材する
長野ケーブルテレビ

正調豊野音頭と豊野町イメージソング「ゆたかのまち」の踊りを習いました。講座にはマスコミ関係者が取材に駆け付けました。

ゆたかのスポーツクラブ 10年の歩み

「ゆたかのスポーツクラブ」が平成20年2月に設立されて10年。会員は400名を超え、町民対象に様々なスポーツ活動を行ってきた。クラブ設立に至る経過や活動内容、今後の抱負などを寄稿していただいた。

1．長野市との合併3年後にクラブ立ち上げ

平成17年1月の合併と同時に体育指導委員、体育協会、スポーツ少年団の有志30人ほどが地元の食堂で会合を持った。「長野市の公民館はスポーツ事業はやらないそうだ！豊野のスポーツはどうなってしまうのだ！」と危機感に駆られ意見交換した。今までのような町からの予算は無くなるが、無償でも仕方ない。地域のため、スポーツ愛好者のため、子どものために現状のスポーツ事業を我々の手で進めていこうという風向きになった。その後各団体の代表者で具体案を練り、体育指導委員長だった私を代表者として「豊野スポーツ協会」を立ち上げた。それが、今の『ゆたかのスポーツクラブ』のルーツである。

新事業として、次の役員構成で「豊野スポーツフェスティバル」を開催し、手ごたえを得ることができた。

大会長＝清水博、同副会長＝中村丈夫、幹事長＝大岡春雄、事務局＝武田真治、千野博敏、イベント＝矢澤秀夫、報道＝小林常雄、集計＝原俊樹、会計＝小嶋芳夫

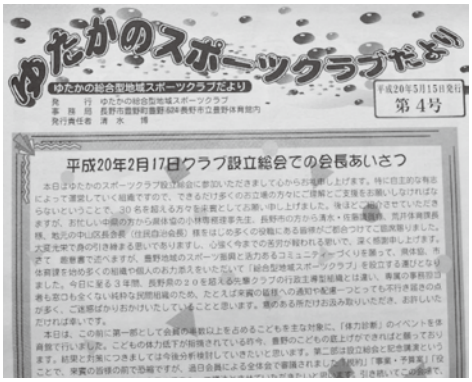
1年後には、当時県体協が推進していた『総合型地域スポーツクラブ』の設立を視野に、toto（サッカーくじ）の設立準備金の交付を受け、先進クラブの視察や講師を招いた研修、様々なスポーツ事業の試行、「クラブだより」による地域への浸透などに取り組んだ。県体協（私と大学同期の山田アドバイザー）の指導助言を受けながら、合併3年後、設立準備2年後の平成20年2月17日に総合型地域スポーツクラブ『ゆたかのスポーツクラブ』の設立総会を開催した。

この時から、今日ある我々の活動が始まったのである。

（会長　清水　博）

設立に至る主な動き

平成
17年 1月 豊野町時代の体指▶体協・スポ少有志、自主的にスポーツ組織（後の「豊野スポーツ協会」）を立ち上げようと意見交換
7月 豊野スポーツ協会主催「豊野スポーツフェスティバル」開催
18年 5月 toto育成指定クラブ委託事業契約締結（2年間）
6月「総合型地域スポーツクラブ」設立準備委員会総会
7月 第1回「ゆたかのスポーツフェスティバル」
9月「ゆたかのスポーツクラブだより」第1号創刊
10月 小県郡真田町の総合型地域スポーツクラブ視察
19年 2月 石川県かほく市のNPO法人クラブレッツ視察
4月「ゆたかのスポーツクラブだより」第2号発行
9月 豊野地区住民自治協議会設立、教育文化部会長に「ゆたかのスポーツクラブ」設立委員会会長就任
11月「ゆたかのスポーツクラブだより」第3号発行
20年 1月 第1回新春スポーツ大会
2月 ゆたかのスポーツクラブ」設立総会
講演　ソウル五輪競歩選手　酒井浩文氏
5月「ゆたかのスポーツクラブだより」第4号発行


ゆたかのスポーツクラブだより
ゆたかの総合型地域スポーツクラブだより
平成20年5月15日発行
第4号
平成20年2月17日クラブ設立総会での会長あいさつ

設立総会を伝える「ゆたかのSCだより」第4号

今後の主な講座

育ってネ野菜2
3月8日（木）～8月23日（木）
全6回午後
講　師　山本宗輝さん
会　場　豊野公民館
土作り、苗の選び方、植える時期、管理方法や秋野菜の種まきなど盛りだくさん。今年は3月から。

いとかはゆし
3月19日（月）午前
講　師　リフォームの会カーネーション
会　場　豊野公民館
「福まめ」を手づくりしてみませんか。

二胡の奏で
3月29日（木）午後
講　師　久保里子さん
長野二胡楽友会
会　場　豊野公民館
東洋のバイオリンともいわれ、人の心をいやす繊細な音色を奏でる二胡の演奏を聴いてみませんか。

福まねき
3月30日（金）
中野の「土びな」を愛で、福を見つけて土人形絵付け体験。

とよのむかしばなしでぶらマップ
4月17日（火）午前
「とよのいいとこマップ」を活用した街歩き講座第二弾。花咲く八雲台古墳、聖林寺跡、大久保池周辺を巡ります。

やさしい菊づくり
4月19日（木）～全9回
講　師　藤澤　信さん
会　場　豊野公民館
大菊を三本仕立てで咲かせましょう。

はな日和
4月23日（月）～全4回
講　師　山本宗輝さん
会　場　豊野公民館
美しい花壇づくりのお手伝い。

健康フライデー
5月～7月
講　師　清水順子さん
会　場　豊野公民館
ゆたかの体操と笑いヨガで健康づくり。

はなしの種㊥
5月10日（木）
菜の花咲く飯山市とその周辺の街歩き講座第二弾。コースはお楽しみに。

ゆたかの音楽会
5月中旬
講　師　島津和平さん
会　場　豊野公民館
テノール独唱を聴き、みんなで楽しく合唱しましょう。

善光寺の脇道散策
6月4日（月）
講　師　宮下健司さん
善光寺周辺の脇道で歴史発見。

戸隠の森（仮題）
6月26日（火）
講　師　渡辺隆一さん
戸隠森林公園で自然の偉大さ、大切さを考えましょう。

このほか様々な講座を予定しています。詳細は、その都度お知らせいたします。ご期待ください。

地域公民館紹介
豊野南公民館

２つの行事を通して、豊野南公民館を紹介します。

１つ目は夏の研修旅行です。今年度は、群馬県の碓氷峠鉄道文化むらと磯部温泉「舌切り雀のお宿」でのランチ付き日帰り入浴を実施しました。おじいさんとお孫さんで参加してくださったり、家族全員で参加してくださったり、とても和やかなバス旅行となりました。

学習委員長や学習委員のスピーディーな段取りと参加者のご協力もあって、行程通り無事終了できたことに感謝いたします。

２つ目は豊野町運動会です。前回の屈辱を晴らすべく、体育委員長はじめ体育委員を中心に脱下位を目標に、準備してまいりました。前回の反省から今年度の目標が決まり、体育委員は例年より早くリレー選手を選抜してくれました。

碓氷峠鉄道文化村で

栄えある優勝の豊野南公民館

あれから1年、今年の運動会の結果は総合で7位、リレーは3位に入ることができました。感動と興奮で拍手がいつまでも続いていました。

また、新春スポーツ大会では優勝の栄誉に輝くことができました。快く引き受けてくださった各競技の選手の皆さん、本当にありがとうございました。

（主事　山崎すみれ）

地域とともに歩む
学校地域連携の取り組み

豊野西小学校　内田　正

二学期の終業式の日の夕方、地域の方より電話がありました。「家の前の雪片づけをしていると、下校してきた子どもたちが、『こんにちは、よいお年をお迎えください』とあいさつをしてくれた。いいあいさつができるね」とのことでした。きっと、にこやかに子どもたちの下校を見守ってくださっていたので、子どもたちはあいさつができたと思います。改めて、地域の方々にお世話になっていることを実感しました。

大菊を芽かきして３本に仕立てる

りんご収穫前の葉摘み作業

豊野西小学校では、地域の方にご指導いただいて、りんごの栽培、菊の三本仕立て、こねつけ、おやきなどの郷土食づくり、水泳指導など、教室での机上の学習だけでは学ぶことのできない、実体験や本物に触れる機会を多く持たせていただいております。

清風園、レインボーでは、地域のお年寄りとの交流をさせていただいています。どうしたらお年寄りの方々に喜んでもらえるかを考える機会になっています。また、年10回のクラブの時間では、手芸、手品、将棋を地域の方とともに学んでいます。学校では指導できないことを地域の方に教えていただきながら、地域の方との楽しいふれあいの時間になっています。

さらに、今年度から読書ボランティアの方により、朝の読み聞かせが始まりました。子どもたちは、とても楽しみにしています。

来年度は、春の遠足で地域めぐりをしたいと考えています。ふるさと「とよの」をもっと知ってほしいと思います。そのためにも、地域の皆さんに、できる時にできることで、子どもたちにかかわっていただけるように、学校からの発信、ホームページ等を工夫したいと思います。地域の『もの・こと・ひと』にかかわりながら、ふるさと「とよの」に生き、「とよの」で育つ喜びを感じることができる活動を、さらに充実させていきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

今年度から始まった朝の読み聞かせ

長野市 豊野支所から

行政相談、人権相談のお知らせ

一人で悩まず、まずは相談を

皆さんは、豊野支所で「行政相談」「人権相談」が開設されていることをご存知でしょうか。

「行政相談」とは

国など行政への苦情や意見、要望を受け付け、相談者と行政機関の間に立ち、公正・中立の立場から、問題の解決を目指す制度です。

相談は行政相談委員が対応します。行政相談委員は、行政相談委員法に基づき、総務大臣から委嘱された民間有識者です。

「人権相談」とは

いじめ、体罰など子どもに関する問題、家庭内における心配ごとや困りごと、近隣とのもめごと、相続に関する問題、プライバシーに関する問題など、毎日の暮らしの中で起こる様々な問題でお悩みの方に、人権擁護委員が丁寧に相談に応じます。

人権擁護委員は人権擁護委員法に基づき、議会の同意を得て、市長が推薦し、法務大臣が委嘱します。

どちらの相談も個人の情報や秘密は固く守られます。

豊野支所では「行政相談委員による行政相談」「人権擁護委員による人権相談」を同日に開催しています。

予約は不要で、料金は無料です。直接会場においでください。今後の日程は次のとおりです。

相談日	平成30年２月２日(金)
	４月20日(金)
	７月20日(金)
	10月19日(金)
	12月７日(金)
	平成31年２月１日(金)
場　所	豊野支所３階301会議室
時　間	13：30 ～ 16：00

【問い合わせ先】
長野市豊野支所総務担当
☎257・3131

こんにちは…
地域包括支援センター

豊野サブセンターです

（最終回）

昨年の３月号で、豊野町内の小中学校で認知症サポーター講座を開催していると紹介しました。今回は、1月26日に豊野西小学校で開催された講座について紹介します。

豊野サブセンター職員と地域のキャラバンメイトの方が訪問し、認知症がどんな病気で、なぜ物忘れが起こってくるのかということを劇で説明した後に、街で心配な高齢者の人を見かけたらどうすればいいのかを、先生も交えて一緒に考えました。

子供たちは真剣に考えてくれ、「心配な人を見たら大人の助けを呼ぶ」「交番に一緒に行く」など、活発に意見を出してくれました。

小学４年生が成人になる頃、日本の高齢者人口はピークを迎えます。子供たちにはイメージが湧きにくいかもしれませんが、中学1年生でもう一度学ぶことで、高齢者や認知症の理解が少しずつ進めばと思っています。

さて、平成28年3月からこのコラムを連載して2年たちました。地域包括支援センターの活動や介護保険事業の紹介をしてきましたが、少しでもお役に立てたでしょうか。拙い文章を読んでいただき、ありがとうございました。

連載は今回で終了となりますが、高齢者の相談窓口「地域包括支援センター豊野サブセンター」を、これからもよろしくいたします。

（石坂）

活発に発言する子どもたち

熱演するキャラバンメイトの皆さん

漢詩の世界へようこそ（第八回）

菅峯 小林 君雄

戸隠郷鏡池

人境塵氛無四鄰
山容映水漾清淪
春朝淡雪堤塘曄
秋夜月華池底純

戸隠郷鏡池

人境塵氛（じんきょうじんぷん）　四隣（しりん）に無（な）く
山容水（さんようみず）に映（えい）じて清淪（せいりん）に漾（ただよ）う
春朝（しゅんちょう）の淡雪（たんせつ）　提塘（ていとう）に曄（かがや）き
秋夜（しゅうや）の月華（げつか）　池底（ちてい）に純（あきらか）なり

【詩の背景】

戸隠の鏡池は毎年メディアに報じられ、紅葉が湖面に映るその美しさが関心を呼んでいますが、紅葉のみならず雪景色も、また人気の無くなった湖面に映る月影も殊のほか見事です。鏡のようだと賞賛されています。

これを詠じてみました。詩の情景は皆さんが推量してください。

【詩の概略】

賑やかな観光客が去って鏡池は静寂に包まれています。戸隠の峰々はいつも峻厳な趣で静かに向き合っています。誰しもがここでは心が洗われ、感嘆の声を発します。私もこんな空間と時間に心を置きたいと、日ごろ思っています。

【詩語解説】

人境…人の住んでいる所。　塵氛…汚れた雰囲気、俗気。四隣…周囲。　山容…戸隠山の姿。　清淪…清らかなさざ波。淡雪…春のうっすらと積もった雪。　提塘…提も塘もつつみを言う。　月華…月の光。池底…ここでは池の中央。池の中心と同じ。

ウッドクラフト展 土屋さん最高賞受賞

土屋彰人さん（豊野）が、昨年11月に開催された「第30回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）」の一般の部で、文部科学大臣賞を受賞しました。

この展覧会は兵庫県丹波市で、木の素材を生かしたおもちゃを毎年全国から公募しているもの。

表彰状を手に

区民祭シーズン到来

蟹沢区民祭が2月4日、東部集会所で盛大に開催されました。29回目を迎えた区民祭は、謡曲や舞踊、カラオケなどの舞台発表と、絵や写真、子どもたちのアートストーンなどの展示が行われました。2回のビンゴゲームには大勢の子どもたちも参加し、地域の世代間交流ができました。

組長会のお楽しみビンゴ大会

図書の利用方法が変わりました

豊野公民館南部図書館分室の利用方法が、他の長野市立公民館と同じ方法に変わりました。今までは、図書館利用カードを提出していただきましたが、これからは、図書の貸出時、返却時にお客様のお名前を教えてください。

2週間5冊まで借りることができます。皆様のご利用お待ちしております。

文芸とよの

豊野こぶしの会

初霜にふるえて咲きし白菊は
　葉枯れもせずにりんと咲きおり　福沢ひろ子

なだらかな斜面にじゅうたん敷くごとく
　葡萄黄葉山裾を染め　藤沢三千子

高台に立ちて眺めるこの町に
　すっかりなれし我がいる　加藤　良子

天井を眺める日々も慣れにけり
　友の見舞いに話弾めり　上倉　勝子

隣町「穂保」の由来知りたくて
　巡回図書の郷土史探す　高橋　洋子

輝いて茜に染まる西の空
　稜線くっきり静かに暮れる　青木　幸子

穏やかな人柄なれば子と二人
　暮らす不満も無きを良しとす　中沢まつえ

編集後記

今年は、例年になく寒い日々を送っています。すれ違う人たちも、「こんな寒い年は、今までなかったな」「毎日、冷蔵庫の中で生活しているようだ」と話しながら、通り過ぎて行きました。「冬は必ず春となる」と言われるように、1日も早く暖かい春を心待ちにしているのは、皆さんも同じではないでしょうか。

「とよのかんぽー」をいつも読んでいただき、ありがとうございます。今年もよい紙面にしていこうと編集委員も頑張りますので、どうかよろしくお願いいたします。（H）